

# NEWS RELEASE

No. 21-15

2021年12月13日

(公財)損害保険事業総合研究所

損保総研レポート第137号を発刊し、以下の3つのレポートを掲載しました。

- ◆ 近年の欧米保険会社における職場のメンタルヘルス対応状況
- ◆ 温室効果ガス排出量の算定方法と欧米損害保険会社の削減に向けた取組
- ◆ 損害保険会社による ESG 投資の動向  
— 欧州保険会社の取組事例を中心に —

公益財団法人 損害保険事業総合研究所（理事長 堀 真）では、研究員による調査研究の発表の場として機関誌「損保総研レポート」を定期刊行しています。

今号（第137号）では、次のレポートを掲載するとともに、海外の金融・保険市場の動向を紹介しています。

<レポート>

## ◆ 『近年の欧米保険会社における職場のメンタルヘルス対応状況』

（主席研究員 林 圭一）

欧米主要国においては以前から、職場のメンタルヘルスを企業の経営リスクのひとつととらえ、様々な対策が行われてきましたが、新型コロナウイルス感染症の流行によって、メンタルヘルスへの対策の重要性がさらに高まっています。

本稿では、このような状況を踏まえ、イギリス・ドイツ・フランス・米国における職場のメンタルヘルスに関する基本的な考え方や法規制・政策等、および欧米の保険会社が自社の従業員への対応に留まらず、健康・医療・傷害保険等に関わる企業として社会への情報発信等でも積極的に対応してきた事例を含めて紹介しています。

## ◆ 『温室効果ガス排出量の算定方法と欧米損害保険会社の削減に向けた取組』

（主席研究員 浦上 純）

気候変動は、人々の生命や生活基盤、経済システムを広く脅かす重大なリスクでありグローバルな対応が求められています。また、わが国も2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言し、官民一体となった取組を開始しています。

現在わが国においては地球温暖化対策として法律に基づく温室効果ガスの排出に係る公表制度が整備される中で、国際標準となっている温室効果ガスの排出量算定の必要性やその手順について、十分な理解が必要と考えられることから、本稿では、それらの基本的な考え方や環境省が定めている算定方法の概要を説明しています。また、

環境への取組や気候変動に係る情報開示が進んでいる欧州を中心に、損害保険会社の自社温室効果ガスの排出量に関する目標、算定方法・推移、および削減に向けた取組事例を紹介しています。

## ◆ 『損害保険会社による ESG 投資の動向

### －欧州保険会社の取組事例を中心に－』

(主任研究員 土持 寛樹)

近年、国際社会で持続可能な発展を念頭に置いた取組の重要性が叫ばれる中、投資判断に ESG 要素を組み込む ESG 投資が拡大しており、保険業界でも主要先進国を中心に ESG 投資への取組が活発化しています。

ESG に配慮した経営を行う企業はこれまで以上に投資対象として高く評価される一方、ESG 取組が評価されない場合には、投資対象から除外されてしまうリスクも高まることから、企業経営の観点で、優れた ESG 取組を社外に積極的に開示することの重要性が高まっています。また、2021 年 11 月に国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議（通称：COP26）が開催されており、ESG への取組は世界的にますます加速していくものと考えられます。

このような状況を踏まえ、本稿では、ESG 投資に焦点をあて、ESG 格付において高評価を獲得している欧州保険会社における ESG 投資の取組事例を中心に紹介しています。

<その他>

#### ◆ 金融・保険市場におけるトピックス

- 世界・市場動向：「ランサムウェアによる保険金支払が増加」
- イギリス・市場動向：「Amazon がイギリスの中小企業向け保険市場に参入」
- 米国・規制動向：「40 年ぶりに改定された連邦洪水保険の保険料率が 2021 年 10 月より施行」
- オーストラリア・規制動向：「監督当局が損害保険会社の保険料設定に関する行動を見直すように指示」

損保総研レポートは、当研究所ウェブサイトより、PDF 形式で無償にて閲覧・ダウンロードいただけます。( <https://www.sonopsoken.or.jp/reports/> )

#### 本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町 2 - 9  
公益財団法人 損害保険事業総合研究所  
研究部 安田  
(e メール : [kenkyubu3@sonopsoken.or.jp](mailto:kenkyubu3@sonopsoken.or.jp))

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配付しております。

## 損保総研レポート第137号 目次

### ○近年の欧米保険会社における職場のメンタルヘルス対応状況

(執筆者 主席研究員 林 圭一)

《目次》

1. はじめに
2. 国際機関の職場のメンタルヘルスをめぐる動向
3. わが国における職場のメンタルヘルスへの対応状況
4. 欧米の主要国における職場のメンタルヘルスへの対応状況
5. 欧米における保険会社のメンタルヘルスに関する取組事例
6. おわりに

### ○温室効果ガス排出量の算定方法と欧米損害保険会社の削減に向けた取組

(執筆者 主席研究員 浦上 純)

《目次》

1. はじめに
2. 温室効果ガスの排出量削減目標
3. 事業者における温室効果ガス排出量の考え方・算定方法
4. 欧米の損害保険会社の取組事例
5. おわりに

### ○損害保険会社による ESG 投資の動向—欧州保険会社の取組事例を中心に—

(執筆者 主任研究員 土持 寛樹)

《目次》

1. はじめに
2. ESG 投資の概要
3. ESG 投資の動向
4. 欧州保険会社による ESG 投資の取組事例
5. おわりに

以上